

case
25

金型設計・製作

株式会社
花井金型
製作所

スモールステップでのDX推進! 探す時間から“創る時間”へ 業務改善から始めるDX推進

これで解決!



Point.1 日報等の実績データを自動集計!さらなる改善のための時間確保へ!

Point.2 物品注文の転記作業を自動化!品質向上・ストレス緩和に!

Point.3 AI図面管理システムを導入!ノウハウ蓄積からの競争力向上へ!

課題
はココ!



1 生産・外注・購入等の実績が複数のExcelに記録されており、品番ごとにコピー&ペーストで再集計していた。転記ミスや実績の更新遅れが生じ、原価・工数をその場で確認できず、改善の初動が遅れていた。

2 CADによる金型設計を行ったあと、外部サイトで部品を注文していたが、注文点数が多く、注文のし忘れ・間違いが多発。作業ミスを防ぐための確認作業も煩雑で、作業者に大きな負荷とストレスがかかっていた。

3 金型図面や関連情報はデータで保存されているが、データ確認業務は金型製作担当者の記憶や勘に頼っていたため時間がかかっていた。そのため、加工など価値を生む時間を十分に確保できず、現場間の伝達にもムダが生じていた。



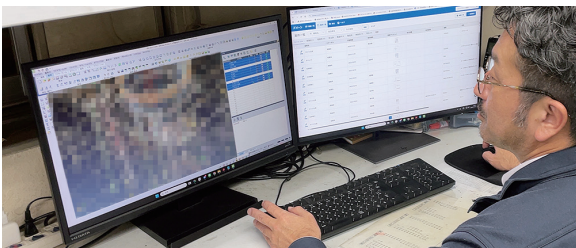
▲少数精鋭で金型設計～製作の一气通貫を強みとする。



1 日報・外注・購入データを自動で収集・照合・集計するシステムを導入。週に数時間要していた社長の作業時間が削減され、さらなる改善のための時間確保へ繋がった。また、入力データがリアルタイムに反映されるため、迅速に改善を行えるようになった。

2 CADデータに部品品番が入力されていることに着目し、CADデータから注文データに変換するシステムを導入することで、毎日1~2時間要していた転記作業が不要になった。また、CADデータの品質作り込みにのみ注力すれば良かったため、金型設計の品質向上・作業者のストレス緩和を実現。

3 図番や顧客名、加工方法などの複数条件で図面検索できるAI図面管理システムを導入し、見積書や工程指示書、加工条件、不具合履歴など、これまで属人的であった金型図面データなど金型製作に関する情報を電子的に一元管理することで、ノウハウ共有が進み、競争力向上に繋がった。



▲CADデータに必要な情報を過不足なく入力することで、シームレスに外部サイトで部品の発注ができるように。



▲AI図面管理システムを導入し、効率的にノウハウ共有が行えるように。

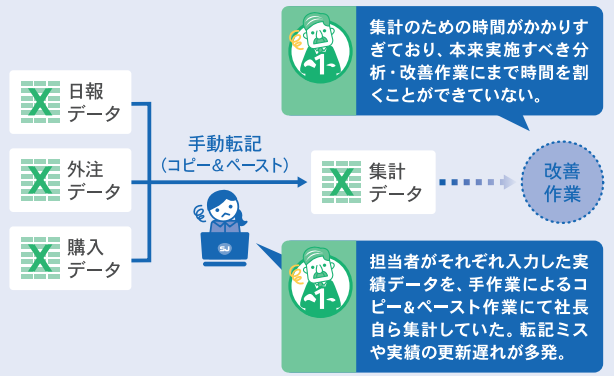
DX推進の成果

2022年度からの4年間、日報集計や注文の自動化・AI図面管理など、スモールステップでのDX化を推進。課題に対して、適切なIT導入を行い、最小限の投資で最大の効果を実現。

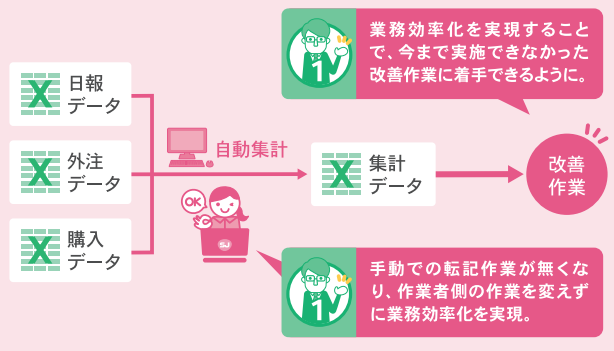
業務効率化・工数削減を達成したうえで、作業者のストレス軽減、ノウハウ共有による設計力向上も実現。DX推進によって、会社全体の競争力向上に繋がった。

STEP 1 日報等の実績集計の自動化

■自動化システム導入前

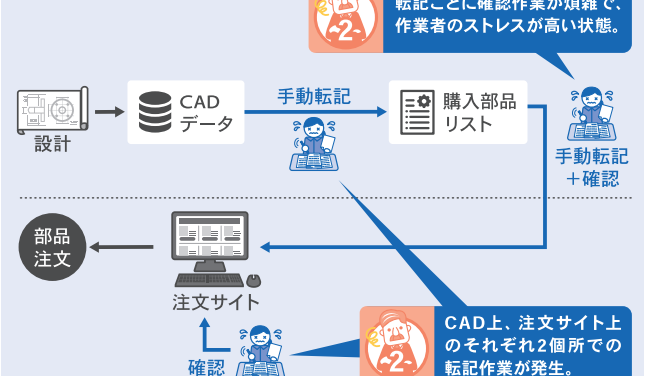


■自動化システム導入後

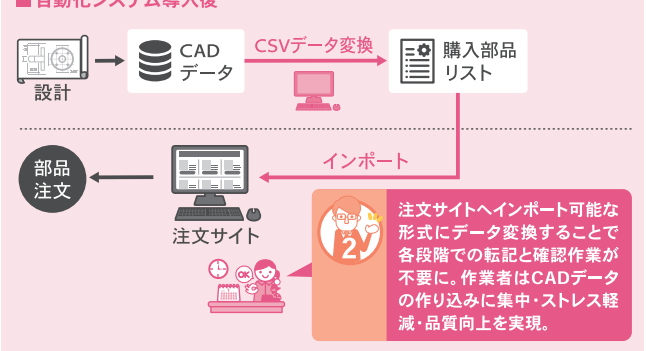


STEP 2 物品注文の転記作業の自動化

■自動化システム導入前

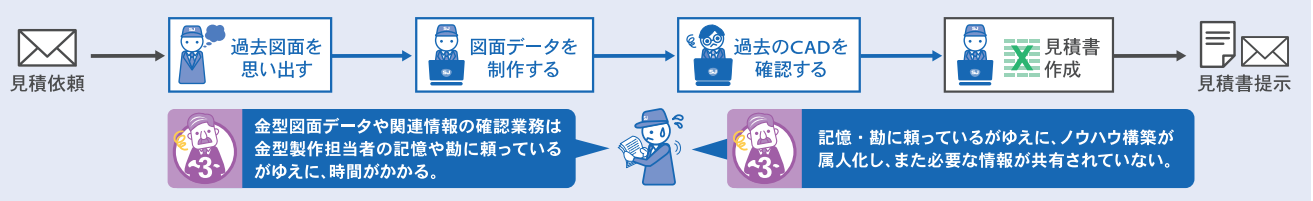


■自動化システム導入後

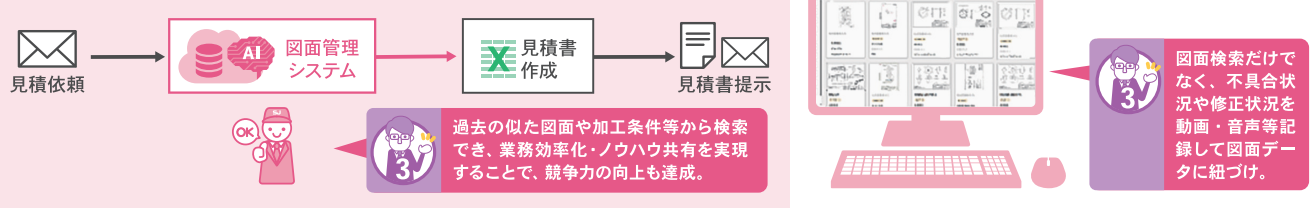


STEP 3 AI図面管理システムの導入

■AI図面管理システム導入前



■AI図面管理システム導入後



今後の展開

DXによる業務効率化・競争力向上により、さらなる業務効率化・標準化を検討できる時間が生まれた。この先も、業務効率化、標準化に繋がるシステムなどを積極的に導入して、当社の強みである金型設計・製作の技術力を活かした提案活動に集中できる体制を構築していく。

株式会社 花井金型製作所

〒505-0051
岐阜県美濃加茂市加茂野町鷹之巣878-1
TEL. 0574-27-4666 FAX. 0574-27-4684
創業/1970年 資本金/1,000万円
従業員数/5名

1970年の創業以来、高度な技術力と最新の設備を融合させ、車両部品、遊技部品や電設部品など、意匠性を伴う複雑な形状のプラスチック製品用の金型設計・製作ができることが最大の強みである。また、社長を筆頭に技術力を有した少人数体制で、試算・設計段階から金型製作まで一気通貫で顧客に寄り添った提案を実現している。

当事例の推進役

花井 秀和 氏
(代表取締役社長)

